

歯・口のけがを防止しよう!

中学校・高等学校等で発生しているけがのうち「歯・口」の後遺障害が残るけがは、中学校では全体の13%、高等学校等では全体の約25%を占めています。

★ こんな事故が起っています ★

事例1：バスケットボール

バスケットボール部の活動中、3対3の練習をしていたところ、リバウンドしたボールが顔面に当たった。

(高等学校1年・男)



事例2：野球

学校のグラウンドで硬式野球部の練習中、内野の守備をしていて、ボールがイレギュラーしたためうまくキャッチできず、ボールが本生徒の口唇部を直撃した。

(高等学校3年・男)



事例3：休憩時間

休み時間、教室で友人と遊んでじゃれ合っていたところ、相手の足につまずき転倒した。その際、顔面を床に強打した。

(中学校1年・男)



【出典】学校事故事例検索データベース

けがを防ぐためにはどうしたらいいの？

- ルールを守り、危険な行動をしない。
- お互いに注意しあう。
- 施設や用具の安全点検をして環境を安全に整える。
- 事故が起こる危険を予測し、危険を取り除く。
- けがをしてしまったら、応急手当ををし、抜けた歯を拾って歯科医院へ受診する。
(歯は歯の保存液(なかったら牛乳)に入れて運ぶ。)



⚠ 歯の障害は食事や会話、顔の表情や印象などに影響し、生活の質 (Quality of Life) を低下させてしまいます。

歯・口の外傷への対応



歯・口の外傷発生

口唇・口の中の粘膜の外傷

口の中が切れた

出血が少ない

様子をみる
口の中の傷は治りやすい

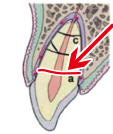
唇が切れた

圧迫止血をする

出血が多い

傷口が大きければ
清潔なもので圧迫する

歯根破折の疑い



痛みのある時は早めに
歯科医院へ

歯冠の亀裂



とくに手当の必要はない

動揺

あり

なし

歯が欠けた

あり

線が入った

歯冠破折



- 神経が見えていればすぐに歯科医院へ
- 神経が出ていなければ慌てなくても大丈夫
- 大きな歯の「かけら」は探して持参する。(「かけら」は保存液につける。)

歯の外傷

歯の位置異常

なし

脱臼



不完全脱臼

安静にして
歯科医院へ



完全脱臼

歯を探して
保存液か牛乳に入れて
歯科医院へ



陥入



歯が中に
めり込んだ

清潔なもので
圧迫止血し
歯科医院へ

下顎骨骨折



歯並びがずれた、
痛みが強い、
口が開まらない

119番通報

顎関節の外傷

耳の付け根が痛い・腫れる
冷やして歯科・整形外科等へ



【出典】 スポーツ事故対応ハンドブック